

群馬の埴輪

～埴輪の出土場所と土地の背景～

中央中等教育学校 3年 清水雅也
(返却希望)

1.研究動機

2年ほど前、私は埴輪と中国の兵馬俑を比べ、その見た目の違いの秘密について考察した。その際、埴輪と兵馬俑の見た目が全く違う理由には、作り方や思想、目的があるということがわかった。

では、埴輪ではどうだろう。埴輪は、今までにたくさん発見されているが、それは全国のほんの一部の地域で起こっていることではない。北から南の各地で発見されている。

そこで私は、環境が埴輪と兵馬俑の違いに影響したように、これは埴輪の中でもあてはめられるのではないかと考えた。今でも昔でも、場所が違うのならば、文化やその地で採れるものは変ってくるだろう。これらのことから、地域によって少しずつ埴輪の違いが出るのではないかと考え、この研究を始めた。

2.埴輪とは

埴輪とは、簡単に言えば、墓を守るために古墳に並べる焼き物である。埴輪には様々な種類があり、人物埴輪、動物埴輪、円筒埴輪、家形埴輪等がある。埴輪には役目があり、代表的なものだと、※1盾持ち埴輪は、主に前方後円墳の外側に配置されており、それは全て外側を向いていたという。そのことから、この埴輪には、悪いものから墓を守るバリアを張るような役目をされていたと考えられている。このように、埴輪には、墓を守る役目があるとされている。

また、埴輪は、当時の人々が身の回りにあるものを模して作られたものが多い。そのため、私は、その地域の埴輪の種類を見ると、その地域が昔はどのような姿だったのか分かると考えた。



※1

3.疑問点とその予測

疑問

- ①埴輪はどのような地域から出土しやすいのか
- ②地域によって、埴輪の種類に共通点はあるのか
- ③共通点があるのなら、何が関係しているのか

予想

- ①埴輪が出土する場所は、主に水辺の近く。

古墳はおそらく昔むらや集落のあったところの近くにあると考えられる。昔の人がむらや集落を作るのはどこかと考えれば、メソポタミア文明や中国文明等がそうだったように、大きな川や水辺の近くに偏ると考えられるため。

- ②ある

2.でも説明した通り、埴輪は昔の人々が身近にあるものを模した物が多いから。

- ③環境に左右されると考える

昔の人々の身近にあるものは、場所によって変わり、それは環境によるものだと考えたため。



4.調査方法

- ①埴輪の群馬県内の出土場所を種類別でまとめる ※【HANI-本】を基に作成する
- ②出土場所について、大まかに分け、その地域の情報を集める
- ③②で集めた情報を基にそれぞれの出土場所を比べる
- ④分からないことがあったら詳しい人に相談する
- ⑤分かったことを基に考察する

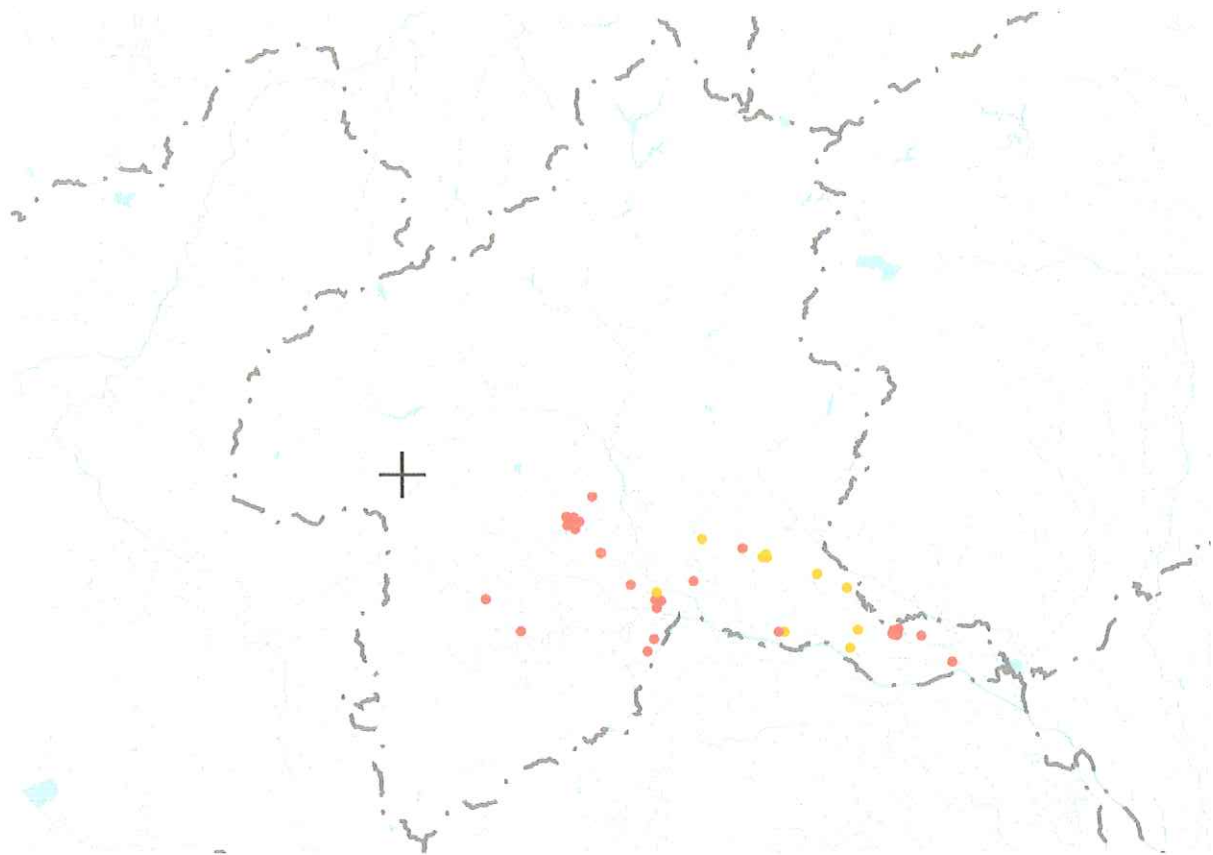
5.調査

【約1500年前の人物埴輪の出土場所】

水色の部分…水辺(川・湖等)

赤色の点…古墳から出土した物

オレンジ色の点…古墳以外の場所から出土した点

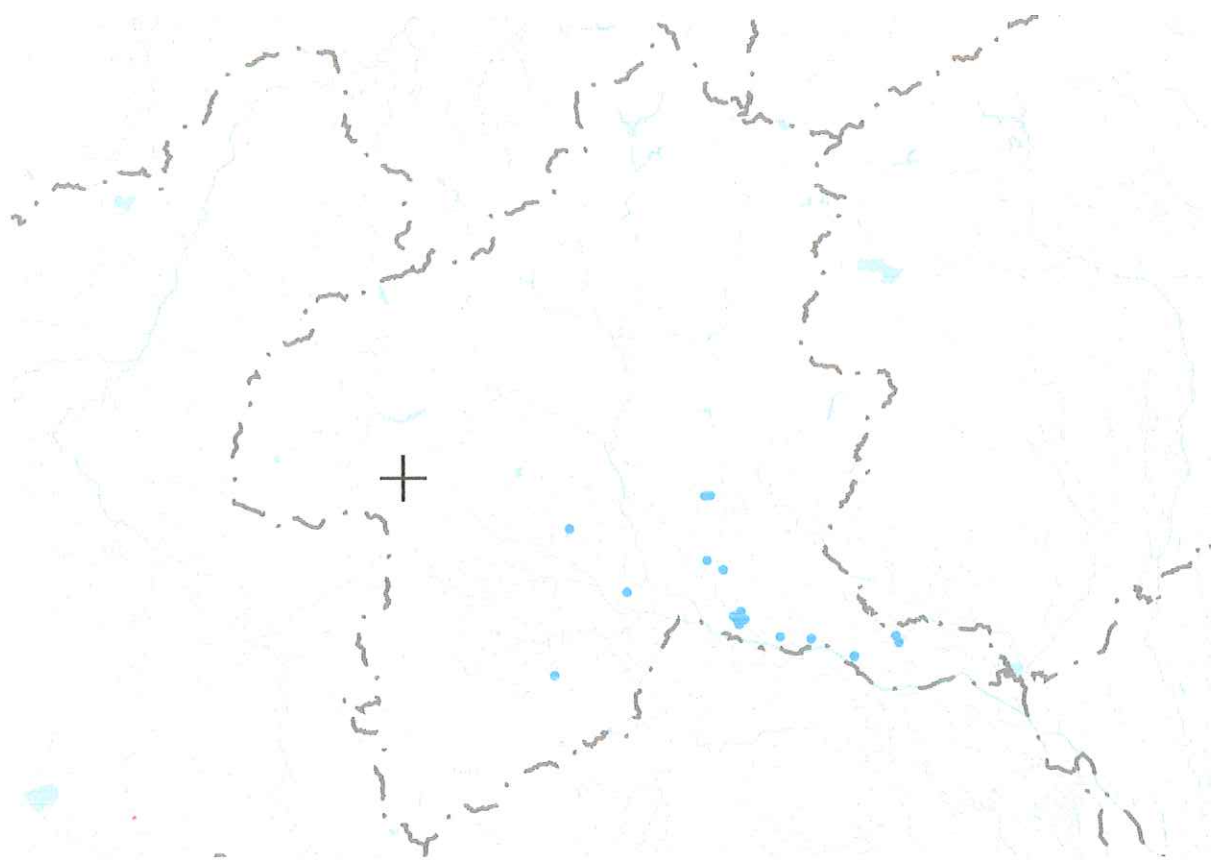


分かったこと

- ・主に利根川などの大きな川の近くにある古墳から出土してる
- ・古墳以外から出土した埴輪は、古墳から少し離れてはいるが、古墳が近くにあることが多い
- ・主に群馬県を中心から、東端にかけて出土している(平地が多い)
- ・群馬県の北西からはほとんど出土していない(山地はほぼない)
- ・埴輪の見た目が似通っていた

【約1500年前の動物埴輪の出土場所】

青色の点…動物埴輪の出土場所



分かったこと

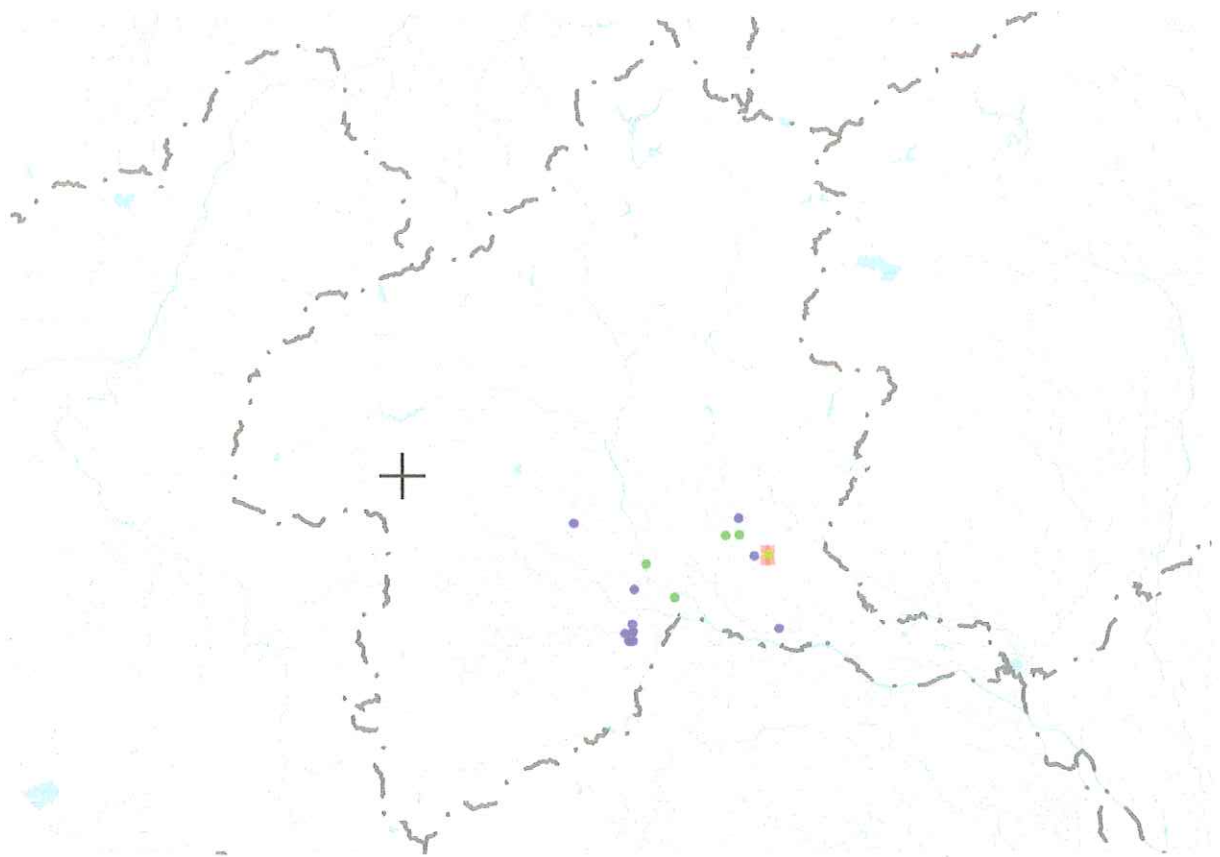
- ・主に利根川に沿って出土している
- ・古墳以外から出土した物はなかった
- ・群馬県の北西部からの出土は全然ない(山地からの出土はない)
- ・動物埴輪は、人物埴輪と比べ、少しだけ東側に寄っている
- ・埴輪の見た目が似通っていた

【約1500年前の家型埴輪と器材埴輪の出土場所】

緑色の点…古墳から出土した器材埴輪の出土場所

赤色で囲まれている緑色の点…それ以外で出土した器材埴輪の出土場所

紫色の点…古墳から出土した家型埴輪の出土場所



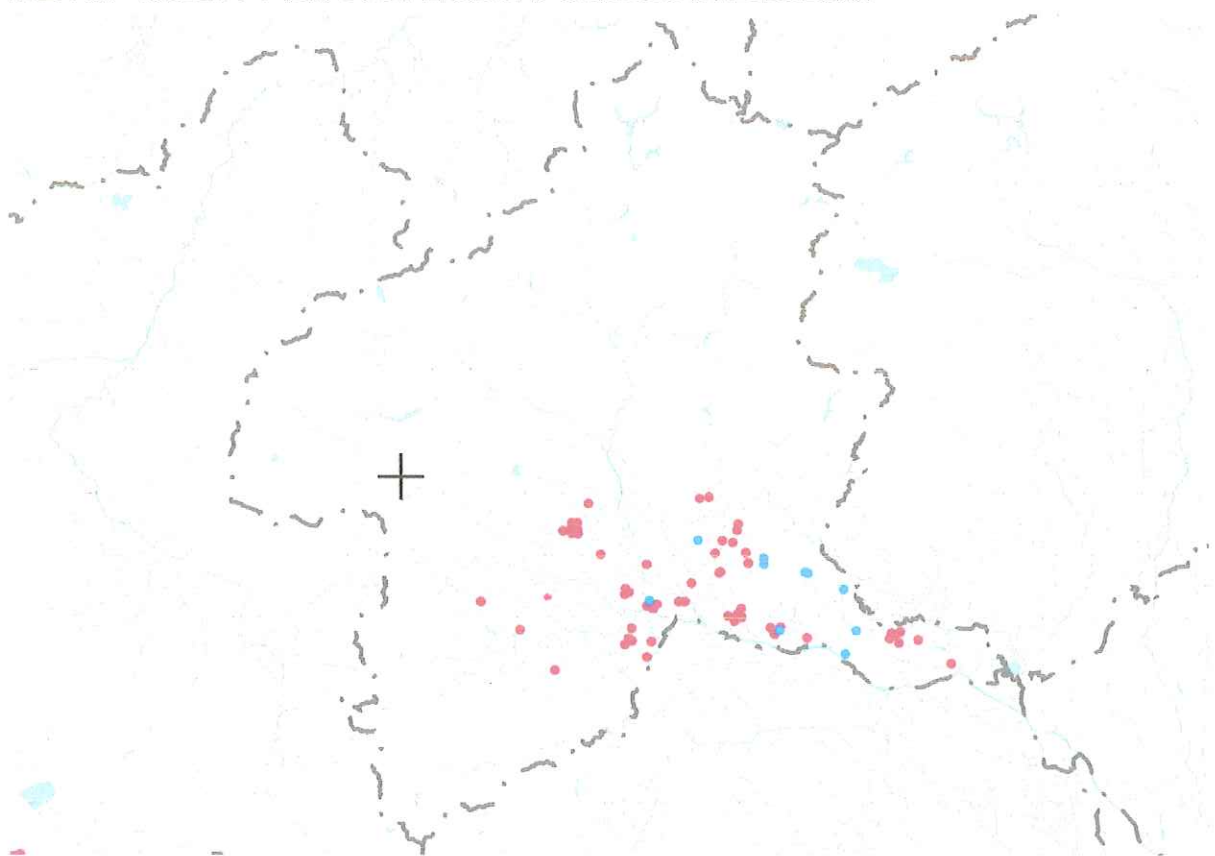
分かったこと

- ・家型埴輪は出土数が他と比べ少ない
- ・器材埴輪も、利根川の近くにあるが、東部にはあまりなく、他と比べ少し中心に寄っている
- ・家型埴輪は川の近くにあり、器材埴輪と同じように中心に寄っている
- ・埴輪の見た目が似通っていた

【以上の埴輪を全てまとめた出土場所】

赤紫色の点…以上全ての埴輪のうち、古墳から出土した埴輪の出土場所

青色の点…以上全ての埴輪のうち、古墳以外から出土した埴輪の出土場所



分かったこと

- ・埴輪は主に利根川のような大きな川の近くにある古墳から出土している
- ・古墳以外から出土した埴輪は、古墳から少し離れているが、古墳の近くにあることが多い
- ・埴輪は、山地からの出土はほぼなく、平野部でかつ川の近くから出やすい

6.結果と考察

疑問	予想	結果
①埴輪はどのような地域から出土しやすいのか → 埴輪が出土する場所は、主に水辺の近く		○
疑問	予想	結果
②地域によって、埴輪の種類に共通点はあるのか → ある		△
疑問	予想	結果
③共通点があるのなら、何が関係しているのか → 環境に左右されると考える		×

考察

上記の調査により分かった、埴輪の共通していることは、

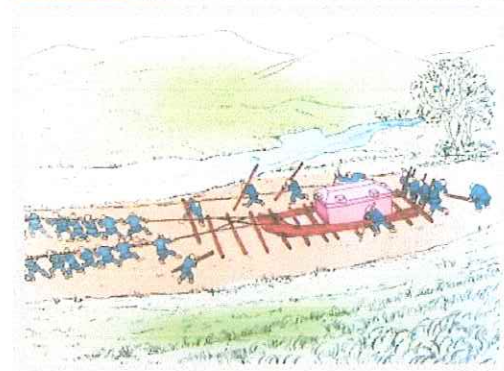
- ・全体的に、埴輪は主に利根川などの大きな川の近くにある古墳から出土してる
- ・古墳以外から出土した埴輪は、古墳から少し離れてはいるが、古墳が近くにあることが多い
- ・主に群馬県を中心から、東端にかけて出土している(平地が多い)
- ・群馬県の北西からはほとんど出土していない(山地はほぼない)
- ・動物埴輪は、人物埴輪と比べ、少しだけ東側に寄っている
- ・埴輪の見た目が種類別で似通っていた

群馬県では、高崎市の弥生時代の日高遺跡や古墳時代の三ツ寺Ⅰ遺跡で水田跡が見つかっている。そのことから、弥生時代から稲作が始まっていて、人々は集落を作って暮らしていたことが分かる。

また、古墳を作るために必要な土や石室のための大きな石、埴輪は遠くから運んでくる必要がある。八幡観音塚古墳の石室に使われている石は一つで約60トンもあるとされている。綿貫観音山古墳の石室の石も、一番大きなものは22トンもある。(右写真)これらの大きな石は、水路を使って近くまで運び、その後は陸路を修羅という道具を使って運んだと考えられている。(右下写真)このようなことを可能にしたのは、当時の群馬県には、ヤマト王権からもたらされた最高峰の技術があったという証明でもある。

また、群馬県は真ん中に平地があり、川が流れていて、周りに大きな石が取れる山があったことから、古墳をつくるのに最適な環境であったと考えられる。

古墳以外から出土した埴輪はなぜそのような場所から出土したのか。かみつけの里博物館と、群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館に行って取材してみた。専門家の方によると、群馬県からは3か所の埴輪製造のための釜が見つかった。それらの釜から、各地の古墳へ埴輪が運ばれたと考えられるということだ。また、それぞれの「クニ」ごとに、多少の埴輪の特徴の違いはあるという。例え



ば、群馬県は他と比べて馬形埴輪の出土が多い。一方で、日本各地で見つかっている出土品はとても似ているものもある。文字がまだない時代に、離れた場所から同じような物が出土するということは、埴輪の役割や形、大きさ、置く場所、それを置くことができる首長の階級など、様々な決まりがあったという裏付けでもあるということだ。また、埴輪は釜からも発見されており、作られて仮置きされたままだったものや、壊れた埴輪が再利用され、それが出土したものもあったということが分かった。

専門家の方の話を聞いて、前橋の中二子古墳から出土した人面付円筒埴輪と玉村の小泉大塚越7号古墳から見つかった人面付円筒埴輪を思い出した。この二つの埴輪は、円筒埴輪に人面が付いているという非常に珍しいものである。これは全国でもあまり例がない。この二つの埴輪が群馬で見つかったということは、釜が同じだったのかもしれない。

7. 感想

今回の自由研究では、埴輪の出土した場所を調べ、その共通点を見つけていきました。共通点を調べていくうちに、昔の人々は、川や平地の近くに住んでいたことが分かりました。昔の人々は「ムラ」と呼ばれる集落を作り、畑や田んぼで作物を作っていたと思うと、自分が想像していたよりも、ずっと文明的な生活をしていたということに驚きました。

ヤマト王権から遠く離れた群馬の「上毛野国」が東日本随一の大国になったのは、群馬の豊かな自然と地形のおかげだったのかもしれませんが。また、6世紀に2度榛名山の噴火という奇跡があったから、三ツ寺I遺跡や黒井峯遺跡、金井遺跡群などの当時の「ムラ」の様子が今でも伝わっていると思うと、様々な好条件が重なったことで、私たちは今こうして古墳時代の人々の暮らしを知れるのはとても素晴らしいことだと感じました。このような奇跡が重なった、歴史ある群馬を他の人たちにももっと知ってもらいたいと思います。これからも群馬の魅力ある考古学について、識見を深めていきたいと思います。



8. 参考文献 ・ 出展

HANI-本
東国文化副読本

全国古墳データベース

<https://zenkoku-kofun.nara-hgis.jp/>

地理院地図Vector

<https://gsi-cyberjapan.github.io/gsimaps-vector-stylesamples/index.html#7.597/35.594202/139.896584/&ls=vblank&disp=1&d=1>

Google map

<https://www.google.co.jp/maps/@36.3856538,138.9523503,10.66z?hl=ja&entry=ttu>

世界史・現代史まとめ

<https://sekaishi-gendaishi.com/archives/5>

宇土市デジタルミュージアム 修羅の復元

<https://www.city.uto.lg.jp/museum/article/view/12/77.html>

歴史発見！前橋フィールドミュージアム

https://maebashi-bunkazai.jp/modules/collection/index.php?action=PageView&page_id=58

玉村町

<https://www.town.tamamura.lg.jp/docs/2019091000187/>

9. 行った場所

群馬県立歴史博物館

綿貫観音山古墳

かみつけの里博物館

八幡塚古墳

群馬県埋蔵文化財調査センター発掘情報館

